

ナミビア大学オゴンゴキャンパス 2026 年米収穫祭への出席 (令和 8 年 7 月 20 日)

令和 8 年 7 月 20 日、定本憲明次席は、JICA 関係者とともにナミビア大学 (UNAM) オゴンゴキャンパス 2026 年米収穫祭に出席しました。

定本次席は式典でのスピーチで、2012 年に UNAM オゴンゴキャンパスで始まった有名な日本・ナミビア米・マハングプロジェクトへと発展した長年にわたるオゴンゴと JICA の関係を振り返りました。さらに定本次席は、「日本は長年にわたり、ナミビア政府の政策に沿って、人と人とのつながり、そしてスキルと知識の相互共有を育んできました。」と述べました。また、最近の新たな取り組みについて、UNAM と JICA との連携、農業分野での FAO を通じた支援、オムサティ州での保健分野での UNICEF を通じた支援について紹介しました。

出席者には、ナミビア大学のケネス・マテング副学長、DEBMARINE ナミビアのウィリー・メルテンス CEO、イーブンブ首長 (伝統的指導者)、ダニエル・イレンド・オムサティ州議会議長、農民、UNAM の教職員と学生、高校生が含まれていました。



(左から) 桜井氏 (JICA)、イーブンブ首長 (伝統的指導者)、メルテンス CEO (DEBMARINE)、定本次席 (日本大使館)、マテング副学長 (UNAM)



定本次席（日本大使館）、マテング副学長（UNAM）、メルテンス CEO（DEBMARINE）



稲刈り・脱穀作業

